

8月9日(日) 埼玉県立近代美術館 講座室

コスチューム制作者がデザインコンセプトをひびのこづえさんとパフォーマーに説明。

ひびのさんからは「原画に忠実に!」というアドバイス。パフォーマーの自己紹介後、コスチューム制作者がパフォーマーを指名していきまし



9月5日(土) ワークショップ参加作品途中経過公開 講評会 埼玉県立近代美術館 講堂

パフォーマーが制作途中のコスチュームを着装し、形や素材などについて、ひびのさんからていねいなアドバイスを受け、パフォーマーもさまざまな動きを見せてくれました。

その後、各地でのお披露目までに、コスチューム制作者とパフォーマーはそれぞれ話し合いとフィッティングを重ねました。



11月21日(土) フィナーレ／完成作品お披露目パフォーマンス 北浦和公園



たのしい食卓 C:江間篤子/ダンス:桜井陽



modestus C:篠原千春/ダンス:江積志織
パーカッション:大澤加寿彦



suimorokoshi monster C:加々美真理子
ダンス:カウムラアツノリ



ポップでキュートな激旨モロコシ C:佐藤利恵子/パフォーマンス:佐藤楓利

〈ひびのこづえブログ「ひびののひび」より〉

幸福な日

私は監修と言う立場で7月から参加者と何度かワークショップを重ねてきて

途中、不安も抱きながら今日の日を迎えました。

良く晴れた紅葉の美しい屋外に16組のコスチュームとダンサーが次々と現れます。

公園の中ではそれとは関係なく人々が休日を楽しんでいる。その中に突然、音とダンスが始まります。

ブレイメンの音楽隊の様にダンサーに誘われて一緒に移動して行く人達、

予期しない出会いに唖然としながら見守る人や

不思議なコスチュームにボール投げをしていた子供が驚きの声を上げたりコスチュームとパフォーマーが

日常をしなやかに切り取って行きます。

私は落ち葉の上に座り込み暖かい日射しを受けまるで夢を見る様な時間をすごしました。

どの作品も微笑ましく瑞々しくユーモラスで笑みがこぼれました。

またいつか、この出会いがいつながって

何処かで再会出来る事を願っています。



きのこのレシビ C:中村春子/振付:藤井香
ダンス:愛智伸江、江積志織、海保文江、佐々木治子、松元日奈子



触と食 C:福田麻衣/踊り:蒼浩人、藤井彩加 演奏:山尾麻耶

県内各地でコスチュームとパフォーマンスのお披露目

9月27日(日) 入間市博物館アリット(P.8参照)

ダンサーは跳躍せず、三味線弾きは三味線を弾かず、羊毛と曲木というこれも想定外の衣装(装置)でのパフォーマンス。中庭に設置された織物をイメージした華道作品とも合いまって、異空間を創りだしました。

山尾聖子(SMF運営委員)

10月12日(月・祝) KAWAGUCHI ART FACTORY —SPACE ZERO(P.15参照)

廃工場という特殊な空間では、ダンサーがパフォーマンスの中でコスチュームの着脱をし、ダンサーそれぞれの個性と5着のコスチュームが呼応し、ぶつかり合い、共鳴する、密度の濃いパフォーマンスが展開されました。

藤井香(SMF運営委員)

10月25日(日) 北浦和西口銀座商店街(P.12参照)

商店街のハロウィンフェスタという場に合ったにぎやかな展開となり、集まってきた子どもたちも一緒に踊ってフィナーレを飾りました。

藤井香(SMF運営委員)

11月8日(日) ヒアシンスハウス夢まつり 別所沼公園

あいにくの天候により別所沼会館の大会議室でおこなわれた三者三様のダンス・パフォーマンスは、まさに身体・衣裳・音楽による非日常の空間のデザイン。その多彩な変化は、ともに生きている時間を実感させるものでした。

高橋博夫(SMF運営委員)



拉麺 C:國分千紘/ダンス:Bobby Kobayashi



スモーグドレス C:スザンナ・メイフィールド
コスチュームデザイン&詩吟:ムバヤオ・ジョルダニ・アチカ



集まって、つながって、広がる C:見目由香 ダンス:カウムラアツノリ

*C:コスチューム制作者



おどるフルーツボンチ C&作詞:タニガワ ハナコ
ダンス:榎川真理子
演奏&歌:大澤加寿彦